



お気軽に
ご相談は
ご意見

増永
わか

別府 2-22-22
Tel.090-9254-7643



ひろ
豊

千里丘東 5-11-6-302
Tel.090-3976-5963



安藤
かおる

鳥飼野々 3-24-3
Tel.090-1919-3951



野口
ひろし

昭和園 8-11-108
Tel.090-7095-4929



この市議会報告は政務活動費を活用しています。

2024年第1回定例会

3月27日に閉会した第1回定例会は、2024(令和6)年度一般会計予算など39議案を可決しました。

日本共産党議員団は安藤かおる議員団長の代表質問をはじめ、委員会審議等を通じ、国保料・介護保険料・学童保育料の値上げ中止(延期)、くらし・中小事業者支援の強化などを主張。そして、39議案中9議案に反対しました。

主な議案に対する会派別採決態度

	日本共産党	民主市民連合	自民党・市民の会	公明党	大阪維新の会	無所属
令和6年度一般会計予算	×	○	○	○	×	退席
令和6年度国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険特別会計予算	×	○	○	○	○	○
●国保料統一化による保険料値上げ条例 ●介護保険料値上げ条例 ●介護職員の過重労働や利用者のサービス低下につながる基準引き下げに関わる条例	×	○	○	○	○	○
●鳥飼東小学校を廃校し、鳥飼小学校に統合する条例 ●ゴミの広域処理に関わる補正予算(一般会計補正予算)	×	○	○	○	×	×
●減債基金を廃止する条例	○	○	○	○	×	×
令和6年度水道事業会計ほか27議案	○	○	○	○	○	○

失われた30年、アベノミクスの失敗による矛盾、くらしは深刻

今でも豊かな財政を生かし、公共料金の値上げストップ!

くらし守り
中小事業者
支援の拡充を!!

厳しい物価高騰のもと市民のくらしは大変です。
日本共産党は「市独自の物価高騰対策」をはじめ様々な予算要望を行ないましたが、それらが反映した予算にはなっていません。
摂津市の財政状況は危機的状況なのではないでしょうか?

摂津市の市債残高(市の借金)は、2023年度末見込みで、454億4600万円(一般会計と上下水道会計の合計)となり、19年前「厳しい財政状況」と言われた現市長就任時と比べ46%に減少しています。また、市の主要基金(貯金)は、減少傾向とはいえ、2023年度末見込みで134億600万円となり、19年前と比べ、2.68倍に増えています。今議会では、財政危機をいわずらに強調する会派がりましたが、引き続き、大阪府内でもトップクラスの財政状況です。

これから多額の予算を投入する大型事業が

続く中、楽観視すべきではありませんが、重要なのは市民のくらしの実態を直視し、くらし第一に財政運営を行う立場にたつて、中長期にわたる市民本位の財政計画を進めることです。

失われた30年に、今日の物価高騰等が追い打ちをかけ、市民のくらしは深刻です。こんな時だからこそ、公共料金の値上げはやめ、市民負担を軽減するべきです。そして、産業のまちにふさわしく市内中小事業者の支援策の拡充こそ、とことんがんばるべきです。

主要基金(貯金)



市債残高(借金)



2026年4月

鳥飼東小学校廃止 → 鳥飼小学校へ

統合条例可決も賛否分かれる 日本共産党は **反対**

統廃合により生じうる問題点があります。

- ▶ 通学距離が長くなる問題や危険な通学路の安全対策
- ▶ 教職員の減少と統合に関わる新たな課題に対する現場の負担増
- ▶ 地域コミュニティ、防災の拠点がなくなる
- ▶ 人口流出などまちの衰退を助長する

こうした保護者・住民の不安にこたえる具体的な対策案が示されていないもとで学校廃止を決定するべきではありません。

今後、安威川以南地域の中学校再編も検討されていきますが、小規模校解消を前提とした方針を見直すべきです。



4意見書 **可決**

日本共産党が提案

「政治資金パーティー収入を巡る裏金事件の全容の徹底解明を求める意見書」

「障害者相談支援事業委託費の消費税を非課税にすることを求める意見書」

- 「保育士の配置基準及び処遇改善を求める意見書」
 - 「若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書」
- 以上、国会や関係行政機関に対して送付されました。



国保料・介護保険料・学童保育の値上げヤメテ!

暮らし・子育て応援・中小業者支援の強化で物価高騰から市民を守る市政運営を!

2024年度当初予算等に反対!問題点指摘し改善を求める。日本共産党

国保料・介護保険料、同時に値上げ! ダブルパンチです。

国保の値上げ は大阪府内統一保険料に合わせるためのもので、6年間黒字なのに値上げをするという矛盾が繰り返されてきました。

今年度からは、保険料を大阪府の示す金額と同額にするという条例が共産党以外の賛成で可決されましたが、府の国保料は全国一高い金額です。法律では保険料の決定権は市町村にあると明記されています。保険料引き下げよの声を上げましょう。



介護保険も値上げ となりました。基準額は北摂で2番目に高い金額です。

一般会計からの繰入で保険料を引き下げるべきです。また、国の訪問ヘルパーの介護報酬引き下げでヘルパーが減少し、事業所も成り立たないと言われます。介護ヘルパーと事業所に支援金を出し、介護崩壊を招かないようにすべきです。

北摂各市の介護保険料基準額(月額)

豊中市	6,998円
摂津市	6,490円
茨木市	6,480円
池田市	6,300円
吹田市	6,280円
高槻市	6,100円
箕面市	5,970円

「(仮称)摂津市こども計画」策定へ

貧困対策、虐待防止…実態把握と具体的支援を

国が「こども家庭庁」を創設したことに呼応して、4月から児童福祉や母子保健の分野を担当する市の部署も新たに「こども家庭部」に名称変更。また、子育てに関わる総合的な支援計画として「(仮称)摂津市こども計画」の策定に向けこの間アンケート調査(ニーズ調査)が行われていますが、作った計画が「絵に描いた餅」では困ります。



1 年度初めからの保育所待機児

公立こども園が率先して定員枠を増やす改善策を!

2 学童保育のおやつ代やお弁当を持って来られない児童がいる

物価高騰で家計が厳しい最中、せめて今年度の利用料値上げは見送り延期を!

3 義務教育はそもそも無償であるべき

学校給食の無償化や就学援助制度の認定基準を改善せよ!

4 学校での子ども1人ひとりに行き届いた授業

少人数学級や支援教育の充実のためにも教員確保に最大限の力を!

課題の解決に向けて具体的な提案もしながらその実現をと迫りました。とりわけ「子どもの貧困」「児童虐待防止」のさらなる対策強化を訴えました。



中小企業のまちなのに

中小企業支援はたったのこれだけ?

物価高騰・インボイス制度などが市内中小企業を苦しめています。摂津市は4000事業所を有する産業のまち、そしてそのほとんどが中小企業です。ところが、実質的な中小企業支援策は商工振興費の5分の1足らず。工場家賃や機材リースへの補助金等を求めました。

2024年度商工振興費 6億7400万円内訳



市の責任で PFOAの血液検査・健康影響調査を行え!

昨年11月に、世界保健機関(WHO)の専門組織である国際がん研究機関(IARC)は、PFAS(ピーファス)の一種であるPFOA(ピーフォア)の発がん性を「可能性がある」から2段階引き上げ「ある」に認定したと発表しました。

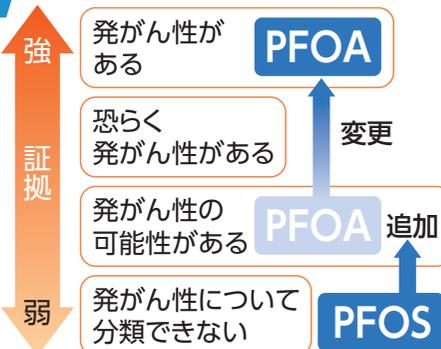
市民団体「PFAS汚染問題と健康を考える会」の血液検査速報値で摂津市民のPFOAの平均血中濃度が他市の約3倍であることがわかりました。

岡山県吉備中央町は、今年度行政初の血液検査実施の予算を組みました。摂津市も市民の血液検査・健康影響調査を早急に行うべきです。

また、今回の血液検査で最も高い濃度の人にはダイキン工業で働いていた人だったこともわかりました。静岡市のデュポン元グループ会社はOBも含めた従業員の血液検査を今年1・2月に実施しました。摂津市はダイキン工業にも従業員等の血液検査を行うよう働きかけるべきです。



IARCのヒトに対する発がん性の分類



ゴミの広域処理 負担金増額2億400万円

茨木市との食い違い… 議会への報告、説明を怠る?



茨木市の環境衛生センターで摂津市のゴミを焼却する広域処理が昨年度からはじまり、両市協定に基づき運営負担金を摂津市が茨木市に支払うことになっています。摂津市は先の議会で、当初予算に計上した負担金が不足し、2億400万円を増額する補正予算を組みました。一方で、茨木市は摂津市の今回の増額分を見

込んだ予算を当初から計上していたことが我が党の調査で明らかになりました。

広域処理初年度から両市間の当初予算に大きな食い違いが生じたことは問題ですが、さらに重大なことは、こうした経過を議会に報告や説明をしないままやり過ごそうとした摂津市の姿勢です。隠蔽行為とも取られかねない不誠実な対応を改めることを厳しく求め、補正予算案に反対しました。